

星野道夫ブックリスト

<昭和学院中学校高等学校図書館 2012年11月作成>

市川市出身の写真家・星野道夫氏は、アラスカを中心に自然・動物・そこに生きる人々をテーマに撮影を続けました。

また、写真だけでなく、撮影の日々の中で綴られたエッセイからも様々なメッセージを受け取ることができます。

このブックリストでは、本校が所蔵している資料の中から、次のようなジャンルに分けて紹介しています。

ぜひ、手にとってみてください。

<図書>

- ①写真集
- ②写真エッセイ集
- ③エッセイ集
- ④写真絵本
- ⑤講演集
- ⑥星野道夫を語る（他著者の本）



<DVD>

<図書紹介>

①写真集

✓	書名[NDC] (出版社、出版年)	内容紹介
	アークティック・オデッセイ 遥かなる極北の記憶[748] (新潮社、1994)	遥かなる極北の記録。極北への神話的な旅へ。 生前最後の写真集。
	星野道夫の仕事[748] (朝日新聞社、1998～1999)	写真家としての仕事を集大成したシリーズ。
	①カリブーの旅	極北の原野への遥かなる旅。カリブーのいる豊穡のアラスカの姿とカリブーのいない荒涼のアラスカの姿をとらえた。
	②北極圏の生命	マイナス 50 度の北極圏に生きるホッキョクグマやアザラシ、カリブーなどの生き生きとした姿。
	③生きものたちの宇宙	グリズリー、ムース、木や風など、アラスカの生きものたちの姿を生き生きと写す。
	④ワタリガラスの神話	アラスカの神話や伝説に登場するワタリガラスを追い求めて南東アラスカからシベリアへ。星野道夫最後の旅。
	Alaskan dream[748] (TBSブリタニカ、2002～2003)	極北に息づく生命の綾を追って、約 230 点の主に未発表の写真を高精細印刷で贈る、もうひとつの星野道夫の世界シリーズ。
	①星の物語	
	②風の物語	
	③愛の物語	
	カリブー 極北の旅人[489] (新潮社、1994)	星野道夫にとって最大のテーマであったカリブー。すべてのカットから厳選した多数の未発表作品に代表作を加え、没後 13 年を経て完成した写真集。

②写真エッセイ集

✓	書名[NDC] (出版社、出版年)	内容紹介
	Michio' s northern dreams [748] (PHP 研究所、2001～2006)	星野道夫が遺した写真と文章を新編集したシリーズ。
	①オーロラの彼方へ	美しく幻想的なオーロラの写真を中心に、極北の地で生きるシロクマやアザラシなどの動物たちの姿。
	②ラブ・ストーリー	アラスカの過酷な自然の中に生きる動物の親子やカップルをとりあげる。
	③最後の楽園	アラスカの厳しい自然が、一方で持っている温かな表情を収録。
	④森に還る日	人間の一生と比べれば永遠ともいえる時間の流れを持つアラスカの森。
	⑤大いなる旅路	生命あるものは、すべて、ゆっくりと生まれ変わりながらどこかでつながっている。遥かなる時の流れ。
	⑥花の宇宙	長く厳しい冬に耐えて、美しく咲く花々。この自然の中で暮らす人々にとっても大切な存在である。
	アラスカ永遠なる生命[295] (小学館、2003)	雄大な自然の中で待ち続けた多くの生命との出会いをあたたく瑞々しくとらえた写真エッセイ集。

ぼくの出会ったアラスカ [295] (小学館、2004)	野生動物や風景など壮大な四季の巡りを捉えた写真 90 点と、友との交流を描いた文章によるアラスカ交遊録。
森と氷河とクジラ [295] ワタリガラスの伝説を求めて (世界文化社、2006)	ワタリガラスの神話をテーマに、本格的に南東アラスカに取り組んだ写真紀行。
Alaska 風のような物語 [748] (小学館、2010)	13 年間におよぶアラスカ取材のすべてを集大成した写真エッセイ集。全地球に宛てたメッセージ。
アラスカの詩 [295] (新日本出版社、2010～2011)	新構成でつむぐ写真エッセイシリーズ。
めぐる季節の物語	アラスカに棲む生きものたちの姿を伝えるエッセイ・写真を集めた。
極北に生きる人びと	友人を含め、アラスカで出会った人びとについて書かれたエッセイと写真を集めた。
夢を追う人	アラスカとの出会いから旅の様子まで、星野道夫の軌跡をたどるエッセイ・写真を集めた。

③エッセイ集

✓	書名 [NDC] (出版社、出版年)	内容紹介
	アラスカ光と風 [295] (福音館書店、1995)	星野道夫がみずからの足跡をたどった、ノンフィクション傑作。
	旅をする木 [295] (文藝春秋、1995)	アラスカに来てからの 17 年の歳月を振り返る。広大な大地と海に囲まれ正確に季節がめぐるアラスカでの生活。
	ノーザンライツ [916] (新潮社、1997)	アラスカの友人たちとの交流の中から、生活者の視点でアラスカの未来を見つめる遺作。
	イニユニック [295] アラスカの原野を旅する (新潮社、1998)	1990 年にアラスカに家を建ててから 1993 年秋までの話。アラスカのすべてを愛した星野道夫。そこに暮らす人々との心の交流を綴る。
	長い旅の途上 [295] (文藝春秋、2002)	遺稿 76 編を集成。アラスカを撮り続けた写真家・星野道夫が遺した最後のメッセージ。
	アフリカ旅日記 [294] ゴンベの森へ (メディアファクトリー、2010)	最初で最後のアフリカ。タンザニアの奥地にあるゴンベ動物保護区でチンパンジーの観察研究に取り組むジェーン・グドールと過ごした 10 日間の記録。

④写真絵本

✓	書名 [NDC] (出版社、出版年)	内容紹介
	アラスカたんけん記 [295] (福音館書店、1990)	19 才のころ、アラスカの本を読んでいて目にとまった一枚の写真。それがすべてのはじまりだった。
	ナヌークの贈りもの [489] (小学館、1996)	エスキモーの神話をモチーフにした物語。ナヌークとは、エスキモーの言葉で、氷海の王者シロクマのこと。
	森へ [295] (福音館書店、1996)	南アラスカに広がる原生林。森のいのちと果てしない時間の流れについて語る。
	クマよ [489] (福音館書店、1999)	アラスカを歩き、クマを見つめクマに見つめられてきた星野道夫が子どもたちに遺した最後の写真絵本。

⑤講演集

✓	書名[NDC] (出版社、出版年)	内容紹介
	未来への地図[295] 新しい一歩を踏み出すあなたに (朝日出版社、2005)	旅立ちのときを迎える若者に捧げた魂のメッセージ。アラスカの美しい写真とともに贈る。英文付き。
	魔法のことば[295] 自然と旅を語る (文藝春秋、2010)	アラスカに生きる動物や大自然を撮り続けた星野道夫が、未来ある若者、都市で生きる人々に語りかけた講演集。瑞々しい体験と生の哲学。カラー写真も多数収録。

⑥星野道夫を語る

✓	書名[NDC] (著者、出版社、出版年)	内容紹介
	星野道夫物語[740] アラスカの呼び声 (国松俊英、ポプラ社、2003)	これまで明かされていなかった幼少期を含め、ベールに包まれていた星野道夫の心の旅を追うノンフィクション。
	星野道夫永遠のまなざし[740] (小坂洋右、山と溪谷社、2006)	星野道夫がヒグマに襲われた事故を、独自の調査と専門家の分析により、事故は、しかるべき原因があつて起きたことを明らかにした。
	魂の旅 <small>ガイアシンフォニー</small> 地球交響曲第三番 [778] (龍村仁、角川書店、2007)	1997年11月映画「地球交響曲第三番」が公開された。撮影開始直前に、出演予定だった星野道夫の訃報が入った。著者は、「見えない星野を撮る」ことを決意し、アラスカ、ハワイ、北海道へとワタリガラス神話に導かれて旅に出た。

<DVD紹介>

✓	DVD名 (発売元、発売年)	内容紹介
	Alaska 星のような物語 感受編 春～夏 (マーベラスエンターテイメント、2006)	「クマ/デナリ国立公園」「カリブー/北極圏」他、ビーバー、ドールシープ、花、高山植物などを撮影。 ナレーター：オダギリジョー
	Alaska 星のような物語 希望編 晩秋～冬、そして再び春 (マーベラスエンターテイメント、2006)	「シロクマ/カナダ・チャーチル」「真っ白に染まった原野・森」「星野自宅/フェアバンクス」他、ジャコウウシ、リス、鳥類、植物、オーロラなどを撮影。 ナレーター：オダギリジョー

<インターネット>

* 星野道夫公式サイト <http://www.michio-hoshino.com/index.html>